



# 住吉秀公の活動だより

住所/〒736-0044 安芸郡海田町南堀川町 7-37 電話・FAX/082-824-1302

## 一般会計 補正予算

# 学校改修事業費を盛り込む

いつもお世話になっています。海田町議会議員の住吉です。9月6日から開催された第5回海田町議会定例会において、総額約5,500万円の一般会計補正予算が成立しました。

この中で学校改修事業として西小・東小の防球ネット設置工事等が認められ、また水防事業として150kg積載の防災用リヤカー6台の購入も決まり、ひまわりプラザや堀川ポンプ所等に土嚢運搬用として配置される予定です。

補正予算以外の主なものとしては、海田町暴力団排除条例が制定され、「尾崎川水系河川整備計画の早期実現を求める意見書」と「東広島・安芸バイパスの建設促進を求める意見書」が全会一致で採択されました。



## 畝保育所の移転建替整備に関する請願書を提出

### 請願書の紹介議員

- ・住吉秀公
- ・多田雄一
- ・桑原公治
- ・兼山益大
- ・大江康子
- ・佐中十九昭
- ・岡田良訓

第5回議会定例会2日目の9月7日に、「畝保育所の移転建替整備に関する請願書」を提出し、福祉厚生委員会に付託されました。

この請願書は畝保育所の早期移転建て替えを求める内容で、私が畝保育所保護者代表の方から要望を受け、紹介議員を募って提出したものです。

畝保育所整備計画は、ふるさと館に移転建て替えするものですが、計画の実施が当初予定より遅れています。議会での採決は12月定例会で行われる予定です。

# 9月議会定例会の一般質問

9月6日から開催された第5回海田町議会定例会において、初日に行われました私の一般質問と執行部の答弁の一部をお伝えします。

## 1. 病児保育事業の実施を求める

**【質問・住吉】** 近年、女性のライフスタイルの変化により、就労と育児の両立を選択される女性が増えている。しかしながら、女性が就労と育児を両立させるための環境はまだ不十分だ。働く保護者にとって一番の悩みは「病気にかかった子どもを誰が見るか」という深刻な問題がある。

子どもの看護休暇は、法制度上は育児・介護休業法に規定されているが、実効性を保障するという点での課題が残されている。子どもの病気のたびに、保護者は何日かの看護のための休暇を取らざるを得ないのが実情であり、職場への遠慮、肩身の狭さなどで度重なれば仕事を諦めることにつながっている。



病児保育事業には稼働率や慢性的な赤字経営、医療機関との連携といった問題も多々あるが、子育てのセーフティーネットとしての役割を担う病児保育の必要性は、今後ますます高まってくる。海田町においても病児保育を実施してはどうか。

**【答弁・町長】** 病児・病後児保育の必要性は行政課題として認識している。実施にあたっては費用対効果や医療機関との連携を考慮する必要があるが、現段階においては、新庁舎の子育て支援機能の中で設置を検討していく。

## 2. 高齢者見守りネットワークの構築を



**【質問・住吉】** 海田町の高齢化率は昨年度末で19.8%と全国平均に比べて低いものの、既に5人に1人の方が高齢者となっており、地域によっては高齢者が3人に1人となっているところもある。

高齢者の孤立を防ぐために、老人クラブへの加入や各種講座への参加、及びシルバー人材センターへの登録呼び掛けを、行政が今以上に積極的に行ってはどうか。

**【答弁・町長】** 町として支援できることがあれば、積極的に協力させて頂きたい。

**【質問・住吉】** 見守りを含めた何らかの支援を希望される高齢者に対し、あんしんほっとコール・配食サービス・家事援助サービス等の在宅福祉サービスを組み合わせ、ほぼ毎日安否確認が出来るようにしてはどうか。

**【答弁・町長】** 希望されるサービスだけでなく、他の利用可能なサービスを提案するなど、見守りに配慮したサービスの提供を行うよう調整したいと考える。

**【質問・住吉】** 地域包括支援センターが中心となって、自治会や老人クラブなどの公共的な活動を行っている団体、警察・消防などの公共機関、郵便・電気・ガス・水道・新聞などの民間事業者と連携し、「高齢者見守りネットワーク」を構築してはどうか。

**【答弁・町長】** 現在策定中の「第5期介護保険事業計画」において、「高齢者見守りネットワークの構築」を盛り込み、地域包括支援センターを拠点として、地域の方々や関係団体等との連携のもとに、見守り体制を作っていく。

# 平成22年度決算審査特別委員会を開催

9月13日に平成22年度決算審査特別委員会が開催されました。一般会計決算額は以下のとおりです。

◎歳入 9,496,140 千円（前年度 8,714,817 千円）

◎歳出 8,847,639 千円（前年度 8,316,343 千円）

前年度と比べると歳入が7億8千万円、9.0%の増、歳出は5億千万円、6.4%の増となっています。

歳入歳出予算規模が前年度に比べて増加した主な理由は、平成22年度から創設された子ども手当による民生費の増や、平成21年度から繰り越して執行した小学校耐震補強事業による教育費の増と、それら事業の特定財源となる国庫支出金が増加したことによるものです。

一般会計決算の歳入歳出差引額（形式収支）は6億4千万円、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源1億1千万円を控除した実質収支は5億3千万円の黒字となっています。

実質収支が例年に比べて増加した主な理由は、決算額と予算現額の比較における町税の増加（1億7千万円）や、不動産売払収入の増加（4千万円）などによるものです。

## 編集後記という名のひとりごと

★私の甥っ子（私の姉の子）はこの春に23歳で父親になりました。まだまだ子どもだと思ってたんで、なんとも不思議な気持ちです★この子が小さい頃、風邪をひくたびに姉は仕事を休むのに苦労してましたし、職も転々とさせられてました★今回の一般質問で病児保育を取り上げる際に、あれから20年以上経つのに何も進歩してないなと痛感しました★もっとも私の姉は普通の女性とはちょっと違ってまして、仕事を休むために「弟がバイクで事故って死にそうなんです」と大ウソをついていたそうで・・・